

2025 年 7 月 12 日 令和 7 年度名古屋市立大学寄附講座（近世名古屋学）

公開講座「名古屋城本丸御殿を考える－江戸の美と現代の技術－」

名古屋市民オンブズマンによるメモ

録音・録画は禁止

13:00

Ⅰ 講座概要

(1) 第 1 部 ゲスト講演「かざる建築 空間と体験」

講師 橋本麻里（学芸プロデューサー）

(2) 第 2 部 ゲスト講演「名古屋城本丸御殿の表裏」

講師 朝日美砂子（金城学院大学等非常勤講師）

(3) 第 3 部 講演「信長・秀吉・家康の御殿－城郭史上の名古屋城本丸御殿－」

講師 千田嘉博（名古屋市立大学教授）

(4) 特別対談

橋本麻里×朝日美砂子×千田嘉博

千田センター長：何回か開催 アンケート熟読

改善する

案内ビデオ 詳しい 明治 17 年薬学から

高等医専

超上位

地域と連携 一つの現れ

本丸御殿 見事に復元

いろんな事情で 天守の中に入れない

ハイライトは本丸御殿

初代、2 代、3 代が見た空間

橋本先生大きな話

あさひ先生 知り尽くしている

千田 本丸御殿

どういう経緯か

最後までお楽しみいただければ

「来てよかった」

13:07

ただ：かざる建築 空間と体験

学芸プロデューサー

刀剣文化研究保全機構

大きな拍手

橋本：集まっていたきありがとう

あってめておいた

9割5分 千田ファン あさひ先生は名古屋城専門家

私はアウェイ

かざる空間 建築史でどう生まれたか

絵画

「真っ白い展示室に絵が展示」

御殿空間 美術館とは違う

御殿 住むための空間

竪穴-北方系

高床-南方系？

・壁の空間

・柱の空間 儀式専用の開放的大空間

寝殿造「光る君へ」

体育館に柱が林立 いかに暮らしやすくするか

屏風、御簾、ふすま 取り外しのできる建具

たれ布、ついたて

いつどこにだれがいるのか 固定されると間仕切りも固定

建築に飲み込まれていく

京都御所紫宸殿の障子

シルクをはったもの

ヒューマンスケールの建具小さくなる→建物の小さくなる

平安中期 柱と柱3メートル

室町 桃山 だんだん狭く 柱は部屋の隅に

丸柱ではなく角柱に

建具が建築の中に吸収される

違い棚、床の間など

書院造が武家の住まいの原型

会所 金閣に接続されていた

城 天守と御殿 安土城 会所なし

対面儀礼が消えて、大広間での対面

聚楽第が最初 上中下

絵画 政治的な意図をもって飾りになる

政治的ショーを演出するもの

聚楽第 柱間9尺 広がる

☆紫宸殿の絵 支配の頂点と臣従するもの テーマ性の強いもの

安土城の障壁画 実物はないが、どんなものかは伝わっている

政治装置に政治的絵を配置する

帝鑑図 明の宰相

模範と悪行 絵と文で紹介した冊子

1606年 14歳秀頼に日本語版出版

1626年 二条城に帝鑑図を 名古屋城、江戸城にも

支配者は徳を高めない

上洛殿に帝鑑図 水墨、金箔

モチーフが古い中国？

花鳥など自然物？

部屋の場所、機能？

本丸御殿の絵は今は見れる ネットなど

江戸時代 絵を見せてもらう 一生に一度の眼福

名古屋城に招かれて服属 絵画を目にする

その場でしかみられない経験

見せられる側も価値

見せる側「こんな貴重なものをみせてやった」

名古屋城本丸御殿 江戸時代とほぼ同じ空間

政治的メッセージを受けられる

同様なのは二条城くらいしかない

ヒエラルキーにからめとられる

読み解き方は様々なルールがある

ほんのちょっと資料を調べていただいてメッセージを受け取って

13:39

ただ：普段はふあっとみていた

政治的メッセージ、ツール

20分間休憩

午後2時 アンケートに協力を

14:00

ただ：部屋熱いが冷房MAX

第2部 名古屋城本丸御殿の表裏

朝日美砂子 学芸員
現在金城学院大 近世絵画史
工芸、建築も研究

朝日：20 年近く工芸、絵画を勉強してきた

作品を細かく勉強する

橋本、千田のつなぎ

本丸御殿の表裏

専門は絵画 建物も勉強

- ・ 乃木倉庫→乃木将軍作っていない
- ・ 清正石→運んでいない
- ・ 天守の金シャチ→茶釜になっていない
- ・ 西南隅櫓の銅鯨→名古屋城のものではない

1. 乃木倉庫 重要文化財の障壁画を入れていた

不発弾が当たったが不発

3 月 25 日文書 補強した

運び込んだのは 4 月

しっくい（レンガ造り）

乃木倉庫を作った明治 13 年北村ふじさん作った弾薬庫

昭和 5 年 名古屋市が付けた名前

乃木将軍 天守は暑い 本丸御殿はトイレがない 早く壊せ！

加藤清正も英雄視

名古屋市の職員だったが今年 4 月から立場が変わったので言わせていただく

2. 茶釜

1 匹だけ焼けた

おろしていたので焼け残っていた

進駐軍接收 →金の塊

昭和 42 年 何から作られたかわからない

金と銀の合金

調査研究センター紀要に書いてある

3. 瓦鯨

某国立博物館 非公開

名古屋城西南隅櫓 北の鯨 明治 43 年

名古屋離宮→宮内省

国の財産 戻ってきていない

小天守の鯨 銅鯨 もともと瓦鯨

本丸御殿 図面

歴史のおさらい

1614 襖絵ができた →根拠ない 狩野貞信 幕末写本に 1 行

1615 本丸御殿完成

1872 陸軍駐屯

1893 皇室の離宮

1930 名古屋市に下賜

1945 焼失 障壁画助かる

2018 復元

本丸御殿の特徴

格は飛ばす ディスカッション使えれば

部屋ごとに格が違う

安藤はざまホームページに説明

格は誰のため？

誰がどこから？

誰が座るか 殿様が儀式で使う

右側 駿府城座り方

一番上の人が奥の上段の間に座る

殿様 家来はきれいな絵が見える

殿様が家来を見ると、障壁画が見えない

表書院 三之間から二之間を見るとききれい

格の意味が分かりやすい

分らないと地雷、わかったら地獄

障壁画における格

玄関 表書院 上洛殿 黒木書院

高いのがきんきらきん

着色花

黒木書院が一番格が高い

質素な空間 山水 胸の中にしかない

玄関が下 長押の上には絵がない

上洛殿松之間 低い キンキラキン 天井の下まで絵がつながっている
わかりやすい威圧感
上洛殿 格が高い

改築・修理

1625 表書院改装
明治宮内省
昭和5年 名古屋市障壁画修理
「国宝ゆえ、補筆しない」
とら、ひょう
白黒 京都市写真 昭和3年
名古屋市 昭和15年写真
眼の形が違う 黒目がはがれている
昭和15年 あきらかに三日月形
現在 三日月形
ひょう しろめがもやっとしている
犯人捜しをした 昭和13年東京文化財研究所
名古屋市昭和15年 しろめのもやもやがなくなっている
金色に補筆なされた
名古屋市による黒目の補筆 なぜとらだけ？
虎図 狩野派が玄関に書きたい
中国、朝鮮 アムール川 手本
目は丸い まんまるのまま
日本に虎はいない 秀吉が塩漬けの虎を送れ
虎の写真がなくなった 丸山応挙という画家
中国の絵を似せるのは嫌だ
猫の写生 応挙の絵は三日月
日本にはとらが本物はいなかった
応挙が三日月形に書いた
大きな流れに沿ったもの
誰かの失策ではなく、

表書院 手が入っている可能性がある
だれが補筆したか？
慶長19年 本丸御殿障壁画
誰が書いたか？ 狩野・・・

狩野探幽・以外は文献根拠なし

玄関一の間 似ても似つかない

表と裏 筆者が違う

下は年寄り 勉強した人

上は若い人

表書院 根拠？

対面所 狩野甚之丞 個人所有 帝鑑図

10 年前に展覧会したくらい

大工仕事の絵としては意味が分からない

狩野甚之丞 最低 5 人くらい？

風俗図にている

本丸御殿は B

名古屋市博物館は C

上洛殿も 5 人？

名古屋城本丸御殿障壁画は、京都・江戸御所や御殿と同じ筆者集団

画題・構図・技法も共通

地域差無し

慶長期・寛永期 いかにも高い水準にあったか

地域差はでるのは江戸時代後期 二之丸御殿

ありがとう

14：41

ただ：もっとお話ししたかっただろう

休憩をはさむ

14：55 まで

14：55

ただ：第 3 部 信長・秀吉・家康の御殿

千田 愛知出身 学芸員

奈良大学学長

2023 年 9 月から名市大

千田：両先生の充実した話 もういいのでは？

美術史の視点

私は城の方から

橋本先生 御殿のはじまり
私は室町から 武家屋敷
細川管領邸 主殿 会所
奥に日頃生活空間 厩
手段の前には広場 会所の前には庭園
礼門、脇門、裏門も
十分整った御殿構成
主殿建築 滋賀県おんじょう寺
京都近郊だけ？そうではない
岐阜県飛騨市 神岡 カミオカンデ謎施設
江馬氏の下館
絵に描かれた世界が発掘でも見つかった
礼門 脇門
予算の切れ目が縁の切れ目 脇門はアルミ それ以降は生垣
心の目で見ないと
会所 現位置に木造で復元
枯山水 室町時代の武士の館が体験
信長の父 勝幡城 主殿や会所、御庭があった
武士の生活、政治、文芸活動の場
信長が活躍 お城が大きく変わる
住みやすい平地 集まるにはいい
そんなこと言っていたら死んでしまう
山城が本拠に
大阪 芥川山城
細川春元 三好長吉
発掘調査が行われた
従来 山の上 守りの砦？
高い山の上に礎石立ちの巨大な建物が建っている 御殿だろう
山城の中に暮らして政務をしている
日常生活不便 買い物いくにも大変
極みが岐阜城 今はロープウェイ
山の上に信長や家族が過ごす御殿があった
訪ねた人が書いてある
麓 正門、館がある
大名の拠点 御殿が上下分離
麓の御殿 複雑な山の温泉旅館のよう

天主の出現

諸説あった 安土城がはじまり？

相当間違っている 1571 年 細川 明智光秀 坂本城

天主と呼ばれる建物があつた

1576 年安土城建てた

連歌をするような建物

奈良県多聞城 4 階櫓 りっぱなもの

櫓と天主はどうやら違うもの

上級な御殿＋物見 天主があらわれた

想像復元図 瓦はほとんど出てこない

屋根はひわだやこけらふき

櫓門は瓦

安土城天主が出てくる CG 高いところに天主

畿内にあつた天主をベース 超巨大化

あきらかに障壁画 御殿の一部として使える

大量の瓦が出土 軍事施設と統合

立っているところ 詰丸

本丸より高い二之丸？ 役割がどこかで間違つた

天主は詰丸に建っている

麓には御殿はない 詰丸に家族と本人が住む

表御殿 分かれて城内に建つ

御殿が分かれて立つ

根本的な立て方が違う

こううんじ御殿 三の丸？

御座敷がことごとく金

大坂城の構造

天主の前に御殿 城壁区画 詰丸

外に千畳敷御殿 秀吉・秀頼が出てくる

表御殿

平らなところに大坂城

安土城形式を引き継いだ

岡山城 宇喜多氏時代 鉄筋で立て直している

左側大坂城 天主頂点 囲い込んで御殿

空間的に離れたところに表御殿
右側岡山城 天主脇に御殿 奥御殿
本丸のところに表御殿群が建つ

豊臣秀長 宇陀松山城
掘ってほしい→半分だけ
表御殿全部発掘→表しかない
詰丸に奥御殿

秀吉大坂城
徳川大坂城 広大な本丸に1つに御殿がまとまる

名古屋城 奥の部分なくなっている
上洛殿上段の間 権威を見せつける
二条城二の丸御殿 国宝
本物はしまっており、デジタルで復元
400 年物
名古屋城本丸御殿 様々なプロセスをへて
近代には眼が三日月になっている

世界の城のなかでも素晴らしい
ヨーロッパ 庭園整備
王の権威 広場階段 広間 玉座に王
王を見せる
広間に参加
広間の空間 王の身体を見せる
日本 御殿 曲がりくねっている 見せずに権威を示す

名古屋城御殿の様子
床の間 違い棚
調度類が並べられていた 掛け軸が欠けられていた
徳川美術館展示 掛け軸、違い棚には茶器
本丸御殿 建物美しさすばらしい
そこには芸術空間として、様々な掛け軸や品々がセットで機能した
再現しながら展示する 一つの方法ではないか

二条城 お人形さんが大政奉還

どういうふうに殿様が出て、家臣どう座って対面するのか
現地行っても「きれい、すごい」歴史を示す空間
展示をバージョンアップしては

マンション ここにベッドおこうかな？

実際の使った空間 御殿はどう機能したか

美術空間だけではなく歴史を体感する空間は可能だ
将来考えて

よくこんなもの復元したな 「きらきらかに騙されるな」

視力2.0

何らかの障害 体感が相当難しい

名古屋城 白木の柱を触らせない めちゃくちゃ怒られます

税金で作っている 維持

東大寺大仏殿 触ったりくぐったり 体感できる

視覚障害 触ることは許されない 体感難しい

それでよいのか？

柱触らせるのはいやだというのなら、触るための柱

「これはよい」 こんなすごい柱が並んでいるのか！

世界はどうか

スペイン・アルハンブラ宮殿 イスラム教

視力がともなければわからない

触知展示 彫刻モチーフを切り出したレプリカ

実際の目で感じられなくてもこういう緻密な模様がいっぱい

アクセシビリティ

人類こういうことができる

名古屋城 視力のいい人しか楽しめない

イタリア・オメロ美術館 触る美術館

絵を触っても？ 立体の像に置き換える

東京都歴史文化財団 始まっている

名古屋城 全ての人が等しく建築・彫刻・絵画を体感する

熊本地震 触知展示を行っている

小さなもの 大天守、小天守、宇都櫓、石垣
松代城 文字とセットで展示 立体の凸凹 20 年近く前
岡山城 パネルに展示をセット

図面でこぼこ
赤外線印刷
京都二条城 触知図 ドットコード
どうして名古屋城はないのか

東京ディズニーランド 触知図 触知ガイド
いかに楽しんでもらうか 体感できるか
全ての人に夢の国
国立民族博物館（大阪）触って理解する あたりまえ

名古屋城総合案内
日本語、英語 多言語化 視覚障害来て体感 強い意欲を感じるか？
案内板？
城内案内マップ
御殿 車いす
「もっとも太い柱が使われている」

歴史的に見ても美術史でも非常に価値がある
2 つに分かれた御殿が 1 つに戻った
すべての人に広げる 十分できる
「視力のある人のみ来てください」→もっと魅力を実感してもらえる
いかに学術的にすごいか 勉強させていただいた
もっと多くの人に広げていこう
ありがとう
15：39

ただ：五感で感じられるようになれば
第 4 部に登場
再開 15：55
アンケートに協力を QR コードで

15：55
ただ：会場の暑さもピークに達する

興味深い話聞ける
進行は千田教授
はしもとまり、朝日美砂子
千田教授にお任せ

千田：よろしく
知らないこといっぱいあった
いままで恥ずかしいこと考えていた
朝日先生 裏の裏の話
みんなが知らない名古屋城本丸御殿
まだ教えていただけることがある？

朝日：千田先生素晴らしい話の前
スライドが落ちた
応挙 猫の目にした

千田：虎だと思って疑っていなかった

朝日：誤解していらっしゃる？
障壁画が好き 多角的に見ると面白い
復元本丸御殿はすばらしい
作ってくださった大工、職人 顔が浮かぶ
長い年月の努力

千田：はしもと先生 猫の目問題は

はしもと：18世紀
応挙が江戸時代の京都
若冲 虎の絵

朝日：企画 虎の絵の展覧会をした
若冲の虎の目は丸

はしもと：ライバル関係

朝日：応挙先生がはるかに有名

はしもと：ポーズは完全に猫

千田：ねこといわれればねこ
美術史の研究恐ろしい
虎の目だけで論文書ける
虎のひげ、虎のしっぽ？

朝日：いけると思う

はしもと：春日大社 たけとらずめ大鎧
金物とら
ひげ アニメにあるようなくるくる

千田：もともとからそう？

朝日：春日大社に聞いたから

はしもと：画竜点睛 重要なこと

千田：名古屋城の虎 ひげがピンとしている

朝日：格の話
表書院 玄関から2番目
格の低い部屋
障壁画の格 色がついている 虎という獣
花鳥 格が高い りっぱな鳥ばかり
棚 床の間 違い棚
細かいところ 玄関 段違い平行棒
上段の間 せいろうだな 三段
表書院の方が格が高い
さるぼう天井
表書院上段の間 格子の中に細かい格子がある
欄間 ふすまの上 旅館にある
飾り方 玄関 横棒真ん中1本
表書院 増える

上洛殿 彫刻欄間 色付き めちゃくちゃ重い
部屋と廊下の間仕切り
玄関 下に絵 上に白い障子
表書院 上の仕切りが細くなる
絵のある場面掃除 絵の具の刷毛
上洛殿 障子ではなくなる 部屋の方は絵がある
廊下 板で覆う 金箔をはって舞良戸 真っ暗
間に障子をはさむ
お金のかかる部屋になる
黒木書院 おなじように2枚の間に1つ挟む
天井 玄関 さるぼう
対面所 格天井
上洛殿 格天井漆金金具 すべて絵が入る
現在模写の先生が書いている

千田：だんだん進んでいくほど豪華になっていく

はしもと：黒木書院 水墨画 淡くなる
上、欄間は

朝日：天井も欄間もない
もともと家康関係の建物？
清洲城関係で住んでいた？
室町？ 清洲越えまで清州があった
家康の住まいがあった？減築した？
名古屋城にあった？
四季耕作図、花鳥図
殿様の絵 米作り 民がなしている
健康にお米が食べられる
もっと広い、家康の御座所をぶっこんだ？
図面 上洛殿 左上に黒木書院がぶっこまれている
ふすまを開けると地面

はしもと：裏で話をしていた
清須時代御座所 減築してぶっこんだ？
障壁画 どういう絵師が

朝日：狩野派 擬古的

清州城 狩野派絵師がいた 2名いた
絵画状況 狩野派しか考えられない
中央の古い様式を墨守していた？

はしもと：ほかの御殿とは違う？

千田：黒木書院 それ以前に豪華絢爛

地味だな？ 反省
黒木書院行ったことある 大事と思ってた？
心入れ替えて

朝日：黒木書院 時間限定で見られる

名古屋城の職員がついて見る
毎日見れるはず

はしもと：格の話

建物の格 担当する絵師の格
同定するのに

朝日：二十年三十年前の最新の学説

狩野派の序列論 作者を決める典型的に
面白いので主流に
表書院 狩野貞信 狩野派当主
「広間の絵は当主が描く」決まり
画風の検討もなく決められた
もうちょっと広間 当主でいいのか？決まりいつできたか
表書院上段の間 工房・集団と考えた方が
文献だけでいいのか？

千田：二条城で絵の学芸員説明

狩野派 ちょっといじめられている人だから裏に書いた
どろどろしていたんだな 人間のやることは難しい
当主なら格式の高い絵を描くべし

朝日：2－30 年前に新設

それで割り切っているのか

美術史 格付け論 ミスったから落ちた

すべて判断しているのか？

千田：「一度わかった」新しい研究で

前進した？ 難しい

名古屋城本丸御殿詳しい 雨の日どうしているのか

朝日：雨戸を閉めている

朝雨戸をあけて、職員白い手袋をつけて

素手では柱は触らない

最低限の明かりを残して閉める

千田：最近急に雨が降る

閉めないとガラス

朝日：軒が大きい

雨落ち完璧 逆流ない

たたきがきれい 土 丁寧

漆喰 どれだけ雨が降ってもひびがない

はしもと：めちゃくちゃポジティブモード

千田：何度も見学

違いがあるな よく見たら違っていた

段違い平行棒ではなく3つ

みなさん気が付いていた？

玄関 とらとかひょう 強そうで武家の御殿らしい

テーマとしてはいいものではない

朝日：けものはランクが下

とらは霊獣 はるかに尊敬

武家の御殿 藩主を守る

とらが守るほどの立派な人がいる

二条城玄関、大坂城、江戸城

目は丸い

はしもと：西本願寺にもいる

千田：だいたいとら

朝日：お寺でも

はしもと：ひょう　トラの雌？

朝日：丸いのはメス
竹林ひょうご図

はしもと：みたことない

千田：尾張藩主玄関で待つ？

朝日：待つとは考えられない
そこそこ　あそこどまり
二の丸御殿の席順は分かる
本丸御殿の席順はわからない

千田：二之丸御殿が政庁に

朝日：閉じられた空間に

千田：トラばかり　サファリパーク的？
うれしいのか

朝日：威圧感満々
それが目的

千田：トラの間はあるのか

はしもと：玄関後、どこに通されたかで扱いがわかる

朝日：明治 離宮
名古屋離宮に来る
明治天皇 皇后 どこで泊まったか
明治の資料から、部屋の格付けが分かる
明治天皇 上洛の間
寝る なんどの間

はしもと：なんどの間？

朝日：ぬりごめ
真っ暗 天皇が寝る

千田：ちょうだいがまえ
右手方向

朝日：寝室問題わからなかった
明治天皇、大正天皇寝泊まりした
なんどの間で寝ていた
将軍も寝ていただろう
女性 寝ない
明治天皇の妻 湯殿書院で寝る トイレがある
男性皇族 それ用のトイレがある

千田：どこで寝るのか 寝にくそう
使い分けをして 面白い
なんどの間 見学は難しい？

朝日：年に1度すす払い
抽選すすはらい 上洛殿 お掃除ができる
本畳にもさわれる
なんどの間にも入れる

千田：横になれる？

朝日：できない

たかはし：何人ぐらい当選？

朝日：30 人くらい

湯殿書院 お湯を沸かすところ

千田：今年度からものすごい競争率

朝日：皆さん喜んでくれる

なんどの間

上洛殿

大工さんふすまを開けてくれる

千田：狭き門 新しい楽しみ方を見つけた

たかはし：一番役に立った

朝日：掃除する はたき、ぞうきん、白手袋

黒いマットの上を歩いている

本たたみ 星座も胡坐もできる

千田：ふるってご応募ください

古代の宮殿の変遷

いろんな細部 見どころ 位置づけ

あらためて

はしもと：今の皇居 ここまで露骨ではない

接遇する格を備えている

お寺でも

高級レストラン ホテル

値段が高いだけではなく建築的操作 動産類 家具

通されたのはどういうところか

皇居の部屋 違う見方、解像度の高い情報のとり方

ヨーロッパの宮殿も同じ

千田：ヨーロッパ宮殿研究

広間まで

王のプライベート、王妃プライベート
ベッドルームに行く 親密さを示す
日本の御殿の使い方と似ているのか

朝日：同じ 身近なところに行けるほど

千田：一の間 相当だと思うが
黒木書院
おもてなしがあって

朝日：狭いところでお茶を頂くのが最終

たかはし：こまの茶室

千田：家康さんに2畳の茶室 ときどきする
どう楽しむか 自分がおもてなされている感
天井、欄間 意味が見えてくる

朝日：本丸御殿 天守閣との近さも感じて
すごく近い
黒木書院の裏が天守
開けた気分 いかにきちぎちに作ったか
天守が本丸御殿
小天守 本丸御殿側には窓がない
見下ろせない

千田：ああそうかと分かる
最後本丸御殿 守って生かす
少し議論ができれば
いろんなことがもっとできるのでは

はしもと：バリアフリーというのは簡単
車いすでも入れる？
触知 感覚器官に個性がある
年を取ればそういうことになってしまうのはごくごく普通
将来の自分のためにもいいにきまっている

何が必要？わからない

大阪民博 視覚障害の学芸員

聴覚障害の学芸員もいた

視覚障害の学芸員が作った展覧会がないと

健常者が作っても面白くない

発想すらわからない

城の中で働く人にハンディキャップを持つ人に入ってもらっても

千田：美術的、建築 価値がある

現代の匠 技を発揮 すごい価値がある

今体感できる 多くの人に広げるのが大事

名古屋城、本丸御殿 魅力を世界に発信できる

「到底無理」ではなく、やろう

障害を持つ方と連携 どうしていくべきか

どうしたらよくなるか

私自身も思っている

本丸御殿 名古屋の宝 名古屋城を語る時に欠くことができない

世界からお客さん

本丸ほとんど外国と思うことも

みんながみんな目が見える、耳が聞こえる、直立 2 足歩行ができるわけではない

「日本に行くなら名古屋行きなさい」

名古屋 アンケート あまり人気がない

様々魅力がある 名古屋いいところ

名古屋城シンボルのような位置にあるのでは

朝日先生から最後に

朝日：20 年近く名古屋城勤めた

文句をいただいたことはほとんどない

暑い、不満ある？

多くの人が喜んで楽しんでいる

城はいいものなのかな

現状に甘えずに日々努力が必要かと

永遠に続きますように

はしもと：いい話

ご自分の持ちパート 表と裏 裏の話ばかり
裏の裏は表
「おもてなしだった」

千田：おあとがよろしいようで
ここがみどころだったのか つかんでいただければ
名古屋城訪れていただいて、隣近所遠方の方にも伝えて

16:50

ただ：本丸御殿に行くことで魅力が完成する
御三方に拍手を
貴重な話
忙しい中ありがとう
「楽しかったよ」アンケートに込めてほしい